

# 第三章 管理運営計画

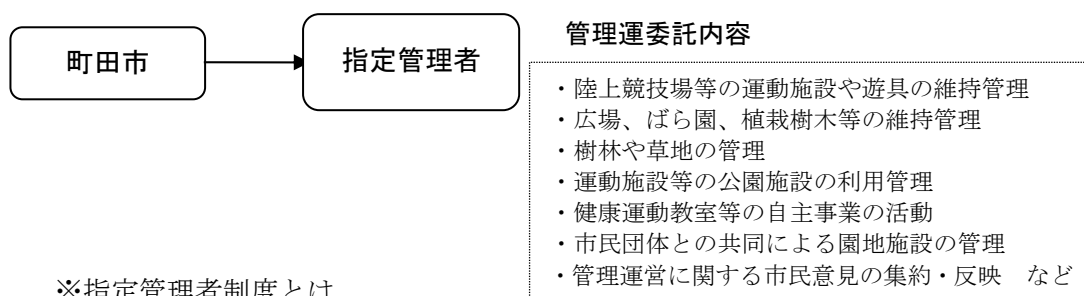
## 1. 現行の管理運営の把握

### 1) 管理運営の現状

野津田公園の管理運営の現状に関して、管理運営の体制・内容を以下に示す。

#### (1) 管理運営の体制

野津田公園では、指定管理者制度による民間業者に公園施設の管理を委託している。指定管理者が担っている業務の内容を下図に示す。

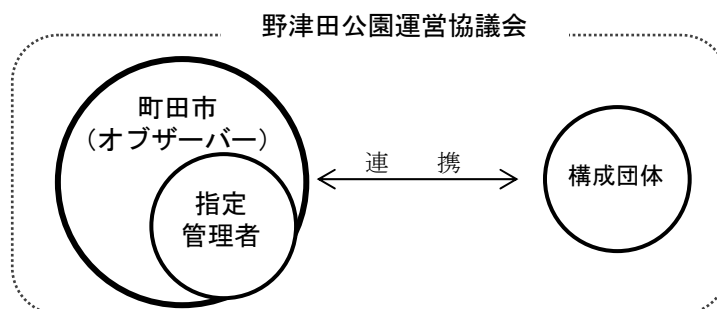


※指定管理者制度とは

公の施設の管理・運営を、民間事業者等に代行させることができる制度。各地方公共団体が、定める条例に従って指定管理者候補の団体を選定し、施設を所有する地方公共団体の議会決議を経ることで、最終的に選ばれた指定管理者に対し、管理運営を委任することができる。(※町田市緑の基本計画より引用)

#### (2) 野津田公園運営協議会で挙げられた課題・要望

野津田公園では、野津田公園運営協議会が設立され、公園の管理運営についての意見交換を実施している。野津田公園運営協議会で挙げられた課題や構成団体からの要望事項について以下に示す。



#### 課題・要望事項

- ・園内の案内板やガイドマップの充実
- ・幅広い利用者層がスポーツに取り組める環境づくり
- ・野津田公園の自然を学ぶ体験プログラムの充実
- ・園内の里山環境や湿性地特有の野草等の再生
- ・園内の樹林や草地の管理に関する連携体制づくり
- ・陸上競技場での大規模イベント開催時の事業運営や施設管理体制の強化
- ・サッカー公式戦開催時の試合観戦者と一般利用者との駐車場利用区分

## 2. 計画の実現に向けて

### 1) マネジメントの内容

#### (1) マネジメントの必要性

公園の魅力を向上させ、その価値を様々な主体と共有していくために公園のマネジメントは欠かせない。マネジメントにあたっては、公園に関わるステークホルダー（ヒト）との関係の中で、ニーズにあった公園施設やプログラム（モノ）を提供することが重要である。また、公園の快適な利用を確保・促進するために、公園の魅力やルール（情報）を発信していくことも求められる。

さらに、管理運営における財源の確保やコストの削減を図ること（カネ）も、持続的な公園のマネジメントを図るために重要となる。このように「ヒト・モノ・カネ・情報」を経営資源として公園のマネジメントに取り組むことが重要である。

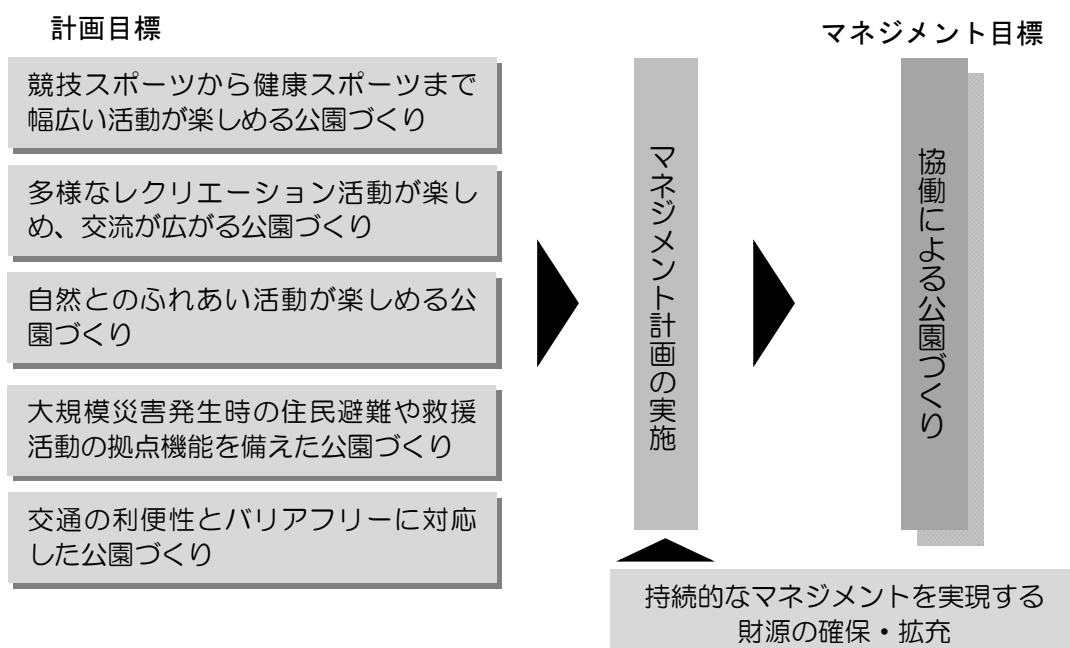
#### 公園の経営資源としての「ヒト・モノ・カネ・情報」の内容

ヒト：利用者、周辺住民、市民団体、企業、専門家 など  
モノ：公園施設、プログラム など  
カネ：維持管理費、施設利用料、占用料・使用料 など  
情報：利用者の要望・苦情、サイン・看板、利用ルール、HP・ブログ など

#### (2) マネジメントの目標・方針

野津田公園のマネジメント目標について以下に示す。本計画の実現に向けて、持続的な公園のマネジメントを図るための財源の確保・拡充を図りつつ、計画目標別整備方針に沿ったマネジメント項目について実施することが重要となる。

#### マネジメント目標：「協働による公園づくり」



### (3) 具体的なマネジメント項目

#### ① 競技スポーツから健康スポーツまで幅広い活動が楽しめる公園づくり

「する」「観る」「支える」の考え方に沿い、観戦試合開催時や日常スポーツ利用時に適した環境づくりとスポーツ教育の推進を図る。

##### A. スポーツ観戦に適した環境づくり（観る）

- ・ 観戦試合開催時の利用者導線の設定 など

##### B. 日常時のスポーツニーズへの対応（する）

- ・ スポーツ利用時のルールの策定・改善
- ・ 運動施設の多目的利用の促進 など

##### C. スポーツ教育の推進（支える）

- ・ スポーツ指導者の育成・活用
- ・ スポーツに関連した講座・イベントの推進 など

#### ② 多様なレクリエーション活動が楽しめ、交流が広がる公園づくり

それぞれの利用者にとって利用しやすい環境づくりや公園で活用できる場の提供を図る。

##### A. 公園を舞台にした活躍の場づくり

- ・ 公園利用のコミュニティを育むイベント等の推進
- ・ 利用に関する規制緩和・利用ルールの策定

##### B. 活動の受け皿づくり

- ・ 野津田公園マネジメント協議会（仮称）の設置 など

#### ③ 自然とのふれあい活動が楽しめる公園づくり

野津田公園の里山の風景づくりに向けたプログラムの実施や担い手の育成を図る。

##### A. 里の風景づくり

- ・ 管理作業の体験イベントの企画・実施
- ・ 循環型公園管理の実践（剪定枝・落ち葉等の堆肥化） など

##### B. 担い手の育成支援

- ・ 技術・知識の習得に向けた講座の企画・実施
- ・ ボランティアを含めた人材育成
- ・ 市民団体間のネットワークと情報共有 など

#### ④ 大規模災害発生時の住民避難や救援活動の拠点機能を備えた公園づくり

災害発生時、イベント利用時、日常利用時の各段階で、安全・安心な環境づくりを図る。

##### A. 防災・減災対策の推進

- ・ 災害発生時のオープンスペース確保
- ・ 災害発生時の対応（避難者の受け入れ、救援物資の提供）シナリオの作成
- ・ 周辺施設・関係機関・公園管理者間の連携協力の推進 など

## B. 日常時の公園利用の安全性確保

- ・ 美化活動の推進
- ・ 予防保全型の施設の老朽化対策
- ・ 公園施設の安全管理体制の確保
- ・ 利用者に対する安全性確保の呼びかけ、利用ルールの周知徹底 など

## C. イベント利用時を想定した安全対策

- ・ 夜間利用を想定した安全対策の推進
- ・ 混雑時の安全管理体制の構築 など

## ⑤ 交通の利便性とバリアフリーに対応した公園づくり

野津田公園へのアクセス向上と園内のバリアフリー化を図る。

### A. 野津田公園へのアクセスの確保

- ・ 野津田公園へのバスの増設・新設 など

### B. 誰でも利用できる環境づくり

- ・ 利用ガイド・インフォメーション機能の充実（HP・サービスセンター開設）
- ・ 複数言語によるサイン・案内の実施 など

## ⑥ 協働による公園づくり

持続的な公園マネジメントを推進していくため市民、地域、企業による協働公園づくり。

### A. 市民・事業者からの支援・協賛

- ・ スポーツボランティアとの協働
- ・ 公園サポーター制度の活用（有料会員制クラブの設立、有料イベントの実施）
- ・ 公園募金の創設
- ・ 収入還元の見える化 など

### B. 民間事業者の活力・ノウハウの活用

- ・ 民間事業者の事業参画（設置管理許可制度・指定管理者制度・PFI）
- ・ 事業参画へのインセンティブ確保（社会貢献認定、規制緩和など）
- ・ 公園の占用料・使用料等の見直し など

## 2) マネジメントの推進体制

### (1) マネジメントに関わる主体と役割

関係主体	役割
一般市民	公園の利用、要望・意見の提供 など
市民団体	公園の団体利用、公園の管理運営の補助 など
企業	観戦試合・スポーツイベントの開催、スポーツ教育の推進 など
専門家	公園管理に対する助言、マネジメント協議会の運営など
行政	公園の所有、法令管理、各主体間の調整 など
指定管理者	公園の管理運営、行政への管理運営状況の報告 など

### (2) 連携によるマネジメント体制の強化

野津田公園をより一層市民に親しまれる公園、利用する公園とするためには、様々な取組が欠かせない。「自然の中で楽しむ総合スポーツパーク」実現のためのマネジメントの考え方について下記に示す。

#### ① 様々な主体による連携の事例

下表に様々な主体との連携による公園のマネジメントに関する事例を整理した。公園のマネジメントにあたっては、特に市民・地域・企業との連携を図ることが重要となる。

表 3-1. 市民・地域・企業との連携の事例

<b>市民連携【おひさまサンサン事業（つくば市 主催者：つくば市社会福祉協議会）】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民、障がい者、ボランティア団体が協力してスポーツやレクリエーション活動等を行っている他、イベント運営についても市民等がボランティアとして協力している。</li> <li>近年では、「おひさまサンサン生き生きまつり」として高齢者の事業と同時開催を行っている。</li> </ul>
<b>地域連携【公園に子育て施設（新潟県長岡市 千秋が原南公園）】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>冬期の子どもの遊び場を確保するため、信濃川に隣接する地域に千秋が原南公園と全天候型屋根付き施設「子育ての駅千秋」を整備した。</li> <li>子育てについての知識を深めるため、図書館司書、歯科衛生士、言語聴覚士など多彩な講師による「子育て講座」を開催している。</li> </ul>
<b>地域連携【健康増進の取組（広島県坂町）】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域内のいくつかの公園とネットワーク化を図り、大学や地元商工会との連携によるウォーキングイベントの運営を行っている。</li> <li>自然体験と心のリフレッシュができるコース 10km、ベビーカーでも楽しめるコース 2km 等がある。</li> </ul>
<b>企業連携【川崎フロンターレのまちづくり活動】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>川崎市内の 112 の小学校の体育の授業にセカンドティーチャーを派遣し、延べ約 2 万人の子どもたちに指導を行っている</li> <li>シニア層に対しては介護予防という主旨で、フットサル場を活用してさまざまな教室を開講している。</li> </ul>
<b>企業連携【兵庫県三木総合防災公園 屋内テニスコート】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>屋内テニスコートにネーミングライツを導入し施設の維持管理費にしている。</li> <li>ネーミングライツ料の一部をテニス振興活動の助成費として確保している。</li> </ul>

## ②野津田公園でのプログラム

第二次野津田公園基本計画の実現へ向け、野津田公園での市民・地域・企業との連携によるプログラムの内容を以下に示す。

### A. 市民との連携によるプログラム内容

- ・まちだサポーターズ等、より多くの市民と連携し、市民スポーツ大会や様々なスポーツイベントの運営を支援する体制づくりやプログラムの実施
- ・公園の清掃や植栽活動への協力
- ・公園内の樹林、草地における維持管理やモニタリングの協働実施
- ・自然観察会や工作教室等の開催
- ・ネイチャーセンターの情報発信（季節の見どころ写真の募集やガイドボランティアの育成等）
- ・ばら園での剪定・接ぎ木講習会等の開催
- ・公園施設を活用した園芸セラピー講座\*の開催 など

※園芸セラピー：園芸を手段として心身の状態を改善すること

### B. 地域との連携によるプログラム内容

- ・公園施設の管理状況の把握や浮浪者の居座り防止に向けた公園内の見回りへの協力
- ・公園施設等の開放による子育て世代の交流創出
- ・小野路地域の散策ポイントとして野津田公園の設定
- ・健康ウォーキングイベント等の開催
- ・周辺自治会との協働による防災・避難訓練等の実施など

### C. 企業との連携によるプログラム内容

- ・プロサッカー選手によるサッカー教室やイベントの開催
- ・プロチームのトレーニングコーチやドクター等による市民からの健康相談の受付
- ・ネーミングライツ導入による公園施設の整備
- ・企業による植栽管理や花壇管理

写真1：長寿社会・健康づくりと公園緑地(1)、公園緑地 62(5)

写真2,3：公園緑地事例集、公園緑地 72(5)。

写真4：町田ゼルビアホームページ

写真5：事務局スタッフによる撮影

## 3) 今後のスケジュール

計画の実現に当たっては、本計画の将来像である「自然の中で楽しむ総合スポーツパーク」を目指し、ゾーン毎に掲げた施設について段階的に整備を進める。

当面は、総合スポーツパークとしての価値を一層高めるため、2020年に開催予定である東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地招致を目指し、既存の陸上競技場と併せて必要な人工芝の多目的グラウンドの整備と、施設稼働率が85%を超え、人気の高いテニスコートの整備を進める。



写真1：公園での園芸福祉（大阪府）



写真2：市民によるばら園の管理（長野県坂城町）



写真3：公園を活用したウォーキング大会（広島県坂町）



写真4：町田ゼルビアと子ども達とのスポーツ祭東京2013記念撮影



写真5：ネーミングライツの事例（前橋市）

町田市第二次野津田公園整備基本計画鳥瞰図



## 町田市第二次野津田公園整備基本計画

---

2014年5月

発行：町田市／編集：町田市都市づくり部公園緑地課  
〒194-8520 東京都町田市森野2丁目2番地22  
刊行番号「14-5」